

特集

わが家の防災

千葉県は温暖で、住みよい土地柄とよくいわれます。確かに、ほかの県などと比較すればそうかもしれません。そんな千葉県でも、過去にいくつもの大きな災害に見舞われています。

去年12月の千葉県東方沖地震は記憶に新しいところですが、アイオン台風(S23)伊勢湾台風(S34)台風25号(S46)災害など、忘れ去られている災害も少なくありません。台風シーズン、9月1日の「防災の日」をまえに、改めて「わが家の防災」を考えてみましょう。

防災はふだんの備えから

怖いものの代名詞といえば「地震、雷、火事、おやじ」と昔から相場が決まっています。では、なぜ台風はこの中に入っていないのでしょうか。台風が、地震や雷とちがうのは、他の災害が突発的に発生するのに対し、台風は規

模や進路などをある程度予測できることではないでしょうか。言い換えれば、正しい情報をより早く知り備えることで、台風の被害は最小限に食い止められる、ということになります。

このように、テレビやラジ

オの台風情報によって行う「備え」は典型的なものです。その他、不意に襲ってくる災害に対しても、「備え」は防災に共通して言えることです。

家族みんなで話し合い
家族防災会議

家族防災会議で話し合うこと

- ・家族の役割分担
- ・離ればなれになったときの連絡先と方法
- ・火の始末と初期消火
- ・家具・危険物(薬など)の点検
- ・避難場所と避難路
- ・非常持出し品の準備

